

Point of note

■ ユニバーサル  
ツーリズムとは

年齢や障がいの有無にかかわらず、どんな方でも気軽に参加できる旅行のこと。滋賀県の「ユニバーサルツーリズム推進事業」に基づき、どこでも介護のHPには滋賀県内のバリアフリー情報が配信されている。介助経験のあるスタッフが実際に現地確認済みだ。



ご夫婦での1泊2日の加賀温泉旅行。バリアフリー情報は、車椅子をご利用の方にとって必要な情報。



なばなの里で飲むビール、最高！おいしそうな笑顔。



おばあちゃん子だったお孫さんの花嫁姿に思わず涙！



旅は、リハビリ！元気になることが嬉しいですね。



故郷の広島で、花のプレスレットを飾って。



会社概要

所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5  
龍谷エクステンションセンター 317 号室  
業 種：旅行介護サービス業  
資 本 金：360 万円  
設 立：2013 年 8 月  
従業員数：1 名



# 株式会社 どこでも介護

<http://www.dokodemo-kaigo.com/>

介護福祉士・理学療法士・国内旅行業務取扱管理者の資格を持つ大西友子さんが立ち上げた「株式会社どこでも介護」。その旅行介護サービスは、こまやかな対応が評判で特に個人客からの需要が高まっている。

「人は、“自分らしく生きる”ことが最も大切。  
そのお手伝いを通して、幸せを届けていきたいのです」

STEP1 創業のきっかけ  
体が不自由な方にも楽しい旅を！  
「旅行介護サービス」開業の決意

介護が必要な方の旅行やお出掛けに付き添い介助しながら、思う存分旅を楽しんでもらう「旅行介護サービス」が、今、話題となっている。「株式会社どこでも介護」も同サービスをメインに行う企業のひとつだ。

創業者の大西友子さんは、自らも父親を介護していた経験を持つ。「脳梗塞を患った父を2年ほど介護していましたが、その間も、毎年恒例の家族旅行をはじめ、父の行きたい場所へ一緒に行っていたんです。大西さんは20代の頃に介護の仕事をしており、その後理学療法士の資格も取って、長年リハビリテーションの現場で働いていたこともあったため、父親を介助しながらの旅ができたのだ。「でも周りを見ると、それは当たり前なことではないんだと気が付いたんです。確かに、一般の家庭では介護をしながらの旅行はかなりハードルが高すぎる。多くの方が、体が不自由になったことでどこにも行けないと諦めている姿も見てきた。「そういう方々にとって、旅行介護サービスがあれば喜ばれるだろうな、と思いました」

そして大西さんはNPO法人を設立。その後、より質の高い事業を行う「想いだけではこの事業はやっていけないことに気付きました。贅沢するつもりはもちろんありませんが、必要な資金は当然発生します。融資を受けることができ、本当に助かりました」法人化後、「どこでも介護」の利用者は倍増し、年間で80〜90件もの旅を提供するまでとなった。

STEP3 今後の展望  
最も大切なことは、一人ひとりが「自分らしく生きること」

大西さんが大切にしている理念がある。それは、「その方が、旅を通じて自分らしく生きることを支援する」ということ。「私自身が自分らしく生きたい希望を持っているんです。自分が楽しく仕事をして、喜んでいただいで、幸せになってもらいたい。それは自身のこだわりなんです。例えば、ファーストフードのセットメニューのように決まったものが決まった量だけ与えられるのではなく、その人が食べたいものを一つひとつ手づくりしていくこと。そういう、こまやかなオーダーメイドのサービスをご提供していきたいんです。どこへ旅したいか、どんなものを食べたいか、どんなコースに行きたいか。そんなお客様の声の一つひとつ聴いて、こまやかにお応えした旅を

ために2013年8月「どこでも介護」を立ち上げた。

STEP2 事業スタート  
自分が登る道は自分が拓く。  
その面白さ、大変さを経て

個人旅行の付き添い介助サービス業に特化した企業はめずらしいが、それはオンラインワンを目指した結果ではなく、大西さんが「やりたいことをやっていくため」に創業したもの。そこに大西さんは面白さを感じると話す。「既に似たような企業がほかにもありますが、それぞれに個性があります。ただ、介護が必要な方を助けてあげたい思いはどの企業も一緒ではないでしょうか。目指すべきところへ登るための道筋に個性があるんですね。自分が登る道は自分でつくっていくかといけないわけです。それは確かに大変です！でも、その面白さがあるんですよ」

まず直面した課題は、福祉車両の手配だった。さまざまな利用者に対応できるような特殊な車両はとても高価。まだ会社を設立したばかりで売上も少なかった大西さんは、日本政策金融公庫の扉を叩く。「何となく敷居が高いイメージがあったので窓口に行くのにすごく勇気が要った」が、融資を受けることができた。

してもらいたいです。それが、その方らしい旅になりますよね」そしてこの理念は「町づくり」にも活かされると考えている。個人個人が自分らしく生きることができて、自分のスキルを発揮させて地域で活かすことにより、その地域が活性化していく。個人から広がっていく好循環を支える立場にもなりたいたと、その優しい眼差しは未来を捉えている。

これまでを振り返って、大西さんはこう話す。「介護や理学療法士の仕事をしてきたことが、今の私のベースになっています。もしゼロから旅行介護の仕事をするとしていたら大変だったでしょうね。もっとこうしたいなあしたい、と欲が出てきたことで、少しずつ仕事の幅が広がってきた気がします。まさに大西さん自身が、もっとも「自分らしく生きること」を大切に体現してきている人なのだろう。

Profile

株式会社  
どこでも介護  
代表取締役  
大西友子さん

介護やリハビリテーションの現場で培った経験を活かし、2013年8月「株式会社どこでも介護」を設立。個々の利用者の個性に対応した質の高い旅行介護が好評。